

パンタール通信

南北米福地開発協会

会報

2010年2月1日

77号

拡大するニームの植林活動



一月9日から、ニームの実を採集する作業が始まりました。第二農園奥のニーム林は三年たつて木も立派に成長、三脚を使っても上の方は届かない5mを超える程の高さになりました。

上の方は小鳥の食事に残し、我々は下の方の実をとることにしました。(写真：大山先生)

初日の収穫は6kg、粒も立派です。二日目は7kg。昨年の経験から、収穫量は当面、日ごとに多くなるでしょう。先回は二千本の苗木を送ったカサド市に既に一万個の種を寄贈する予定が決まっています。

採れた実をざるに入れ、洗って中の種を取りだす作業は忍耐が要ります。果肉は甘みがあるのですが、匂いが独特のくさみがあるからです。ニームを虫がいやがる理由の一つに匂いがあるのかもしれない。

今はまだ、人が手で一つ一つ採集していますが、第五植樹園の五千本が育った頃は、実の採集の方法を効率良く如何にするか充分検討して対処しておかなければならないでしょう。

(飯野氏報告)





街路樹のニーム：4か月でこんなに成長！

バイアネグラからの帰路途中、ディアナ村に寄り、昨年青年ボランティア隊が植樹して行ったニームの苗木を見て来ました。街路樹の木も校庭の木も予想以上に皆立派に育っていました。校長の植樹した木も私の背丈を越えていました。土の違いと腐葉土の使用によるのか、レダの第五植樹園以上に成長が著しいと思われまふ。じつと眺めていると、目の前に立派な大木となつて緑の葉影を繁らせる光景が目に見えびました。それらの木々の下で子供たちや大人たちも喜んで憩っていました。

(飯野記)

柴沼事務局長、日本ニーム協会訪問、稲葉会長と交流。

日本ニーム協会ホームページより)

南北米福地開発協会 柴沼氏と会談 会長録 (一月十五日)

一月十三日、南北米福地開発協会の柴沼氏が協会へ。

以前から交流のある協会です。

何年か前、ニームの木がパラグアイにありますと相談を受けました。その当時写真で見える限りセンダンの木が殆どでした。

今後の事を考えると、センダンの木よりニームの木を増やすことがその後の可能性が大きくなりますよ、とアドバイスしたことがあります。

そこが三年前からニームの植林を始め、現在三m前後の大きさに育つたとご報告頂きました。

柴沼理事のお話では、一万本のニームが植林されているとの事です。嬉しい事です。

このパラグアイの地は、山手線の内側程の広い場所に三カ所ニームの植林をしているとのことです。

インディオが自活する為の協力だそうです。

ニームの他にもモリンガを植え、これをヨーロッパに売る計画も立てているそうです。

他にヤトロハも考えたそうですが、実がつくとインコの大群が来て皆食べられてしまうそうです。

日本ではインコの大群といわれても想像が付きません。

パラグアイには、日本の移民の方々が大勢います。

その彼らの頑張りにより支援を続けようと作られた協会とお聞きしています。

パラグアイはスペインの植民地であったということで、スペインの関係者にも協力依頼をしているとのことです。

日本の反対側で頑張っている日本人。それを支える協会。

私も自分の持っている全てのノウハウを教えて協力していきます。ニームの持っている可能性と、日本の現況、世界の現況、全

てお話ししました。柴沼氏も日本ニーム協会の会員になってくださいました。

日本ニーム協会にパラグアイという友好国が出来ましたこと大変に光栄に思います。ニームという木を通して、パラグアイのインディオに衣食住で協力出来ますこと、より一層の生活向上に貢献できるでしょう。

南北米福地開発協会の皆様、頑張ってください。

我々日本ニーム協会も支援と協力をさせていただきます。

日本ニーム協会紹介

インドをはじめ東南アジアに広く自生する常緑樹、ニーム(NEEM)。

今、この木の持つ害虫忌避作用が、

世界中の農業関係者から注目されています。私たちはそのニームの安全で効果的な防虫・害虫駆除効果を広く日本

の関係機関に紹介し、活用をサポートすること、人々の健康と健全な社会環境づくりを目的に設立された特定非

営利活動法人です。

ニームは防虫効果のほかに、私たち人間の健康に役立つさまざまな薬効も、認められています。化学物質による環境汚染が、私たち人類の大きな問題になつてきている現代。二十世紀最大の

自然の恩恵と言われるニームこそ、私たちの健康と自然環境の保全に欠かせない存在であると考えています。これ

を実現するため私たちはニームに関する情報を発信していきたいと思ひます。

普及と啓蒙 ニームの普及、啓蒙に関する講演会

助言又は支援、協力 化学薬品に変わるものとしてのニーム使用方法の助言

又は支援協力

調査研究 ニームの調査研究

連絡協調 生産農家や消費者などのネットワークを構築する

国際協力 ニームを使った農法を学ぶ(インド、カンボジア、フィリピンにて実施)

販売事業 ニーム関連商品の販売

法人 日本ニーム協会

〒一五〇・〇〇四三 東京都渋谷区道玄坂二・一五・一 ノア道玄坂三一

電話 〇三・五七八四・三四二五



2008年第8回国際青年奉仕隊植樹(エスプランサ村)
苗木を植えて後、1年2か月



2009年12月バイアネグラ市ヘニームの苗木を
レダから200本贈呈





12月20日、会員親善クリスマス会（大山会館にて）



地球の裏側、パラグアイ、レダにても 地球家族で真夏のクリスマス会

地球家族として
自然を守りましょう

**南北米福地開発協会
会員の募集**

南米、パラグアイパンタナール地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会費は月五〇〇円、毎月、パンタナール通信を送ります。また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

南北米福地開発協会 事務局

〒113-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口二一十一番十五

岩崎ビル四F

電話

〇四四一八二九一二八二二

Fax

八二九一二八二〇

会費納入

郵便口座 〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ

<http://www.asd-nsa.jp>